

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



松岡 篤哉

(岐阜/97期)

レース形態が変わってまくりが多くなって、先行の感触が分からなかったけど、(久留米記念で)先行してペースが分かってきたので、もうちょっと上積みしたいですね。地元記念で決勝に上がったことがないので、最低準決勝に乗って、決勝を目指して頑張りたいです。

山口 富生

(岐阜/68期)

落車も続いて動きが悪かったけど、宮杯から楽になってきた。宮杯が終わってからは、さらにいい感じになってます。400勝にリーチをかけて5か月近く経ってるんでね。できれば早く決めたい。地元は気合いが入るので精いっぱい頑張ります。



森田 優弥 (埼玉/113期)

3月からS級で奮戦中。まだS級では優勝が無く、レースの組み立てにも課題を残すが、4月伊東G3で決勝に乗るなど機動力は折り紙付き。トップクラス相手にどこまで通用するか注目の一車だ



小埜 正義 (千葉/88期)

今年の滑り出しはあまり調子が上がらなかったが、ようやく好調時のような力強さが甦ってきた。5月青森で優勝すると、同月宇都宮記念、6月函館記念では決勝に乗っている。今の勢いなら上位進出も望める。



格清 洋介 (静岡/111期)

今期は初のS級戦。A級戦とは言え、前期は7Vのうち6Vを3連勝で飾っており、自力攻撃の破壊力には並々ならぬものがある。今回は初の記念参戦だが豪快な一撃を決めて台風の目と化すか。

S級ブロックセブン

7/23 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

三宅達也もV候補。三宅も落車明けになるが、西同士の徳永哲人を目標か、流れに乗れば一発あっていい。もちろん、横山も状態万全なら負られない。

五日市誠の自在脚に期待する手も。同格戦では確定板入りが多く、動いている印象だ。横山との連係が叶うのが一番だが、駄目でもまくりで台頭十分。

機動力を重視して岡崎智哉を本命に推す。3月の落車からまだ完全に立ち直ってはいないが、6月函館記念では4日間バックを取る競走をし、7月小松島記念は鈴木謙らを相手に一次予選を快勝と道筋は見えてきている。最大のライバルの横山尚則は6月小田原での落車の影響が残っているようで、優位にレースを運べるだけに、きっちり決めたい。

混戦に断

岡崎智哉が



岡崎 智哉